

第 14 回番組審議会 審議議事録

1. 開催日 平成 29 年 2 月 20 日（月）18 時～19 時
2. 開催場所 タス 3F 併（山形県長井市館町北 6-27）
3. 委員出席 委員総数 : 4 名
欠席委員 : 2 名
出席委員 : 番組審議委員会会長 勝見英一郎
番組審議委員会副会長 齋藤 喜内
番組審議委員 寺嶋 宏武
番組審議委員 谷澤 秀一
放送事業者側出席 黒澤 栄（代表取締役）
高石仁光（ディレクター）

4. 議題

- (1) 代表者挨拶
- (2) 御審議
- (3) その他

5. 議事の概要

- (1) 開会
- (2) 御審議

①番組の適正について

対象番組：「おらんだの音楽のじかん」 パーソナリティ 小関亨

新番組：毎週火曜日 10 時 30 分～

再放送 土曜日 9：30～ 日曜日 13：30～

②質疑応答

③その他

④閉会

6. 審議内容

①番組の適正について

(谷澤委員)

- ・スタジオ編集料、スタジオ使用料を貰っていないとのことだが、ギャラと相殺となっているのか。事務局側で編集すると事務局側の手間が発生するが大丈夫なのか。

(高石)

- ・少し変わった手法で収録や編集を行っているので、正直、時間や手間は取られる。当初の予定では、パーソナリティ本人がミキサーや編集者を準備する予定だったが、上手くいっていない。

(勝見会長)

- ・4月からは体制の改善を整理できればと思う。この先の見込みは決まっているのか。

(高石)

- ・SNSでの反響もあるので、局としては続けたいと思っているが、本人は話すことが苦手のため、他の人に話してほしいと思っているようだ。
- ・本業がイベントのプロモーターなので、局のイベントの際に大物のゲストを呼んでほしいと考えている。

(寺嶋委員)

- ・他の音楽番組とは違うスタンスの番組作りになっているのか。小関さんの本業の宣伝を含んだ番組制作となっているのか。

(高石)

- ・当初は、全てお任せし、完パケで納品してもらう予定で話を進めていたが、放送日が迫っても編集者や出演者の都合がつかないので、局側で編集を行うことにした。
- ・アーティストとの繋がりもあり、面白い番組が出来てきているが、負担感が大きくなると長く継続するのは難しいと感じている。早めにミキサーや編集をおこなえる人が見つかりたいと思っている。

(齋藤副会長)

- ・ラジオらしい番組だなと感じた。内容の組み立てや構成、曲の選び方もすごくよかった。聴く人も新しい音楽の発見ができると思った。

- ・放送時間帯が、午前中の10時30分からなので、なぜこの時間帯なのか気になった。車で移動しながら聴いている人も多い時間帯なので、それもよいのかなと思った。
- ・好感の持てる番組だった。

(寺嶋委員)

- ・新しい感覚の番組だなと好感を持って聴いた。本人を知っているが、普段とは違うラジオ向きの喋り方をしているなどと思った。
- ・夜の時間帯に放送してほしい。(夜の10時頃)
- ・番組のオープニングの作り方をランダムにしているとのことだが、それぞれの感覚だと思うが、個人的には同じパターンの方が安心して聴いていられる。
- ・生放送でもいいのではないか。名物番組になればいい。

(谷澤委員)

- ・何を目的でどこを目指しているのかわかりにくかったので、ホームページを見たが番組紹介がなかった。今日の番組説明の話で、ソウルフードのガンボスープのような、と聴いてちらっと見えた。
- ・音楽のジャンルを問わないのはいいと思うが、一方的にパーソナリティの好みの音楽を流すのはどうかと思う。個人的にはいいなと思うが、全ての人がそうかなと心配に思った。
- ・リクエストやメッセージは、今後受け付ける予定なのか。もし受け付ける場合、テーマを設けて、リクエストやメッセージを受け付け、ジャンルを問わず紹介するのもいい。
- ・(他局の)ジェットストリームのような番組に育てなければなどと思った。

(勝見会長)

- ・大変聴きやすく、気楽に聞くことができた。私は音楽にこだわりがないが、それでも抵抗感なく自然に聴いていられた。いろいろな人に向けて作られているなどと思った。
- ・番組審議委員会において、今までの審議番組も適正に問題があるような番組はなく、ちゃんとした番組制作が行われている。今後は、番組の資質的なものやどうやって広げられるか、話題を持たせるには、という観点が大事になってきている。そういう意味では熟成されてきている。
- ・今回は番組をどう生かしていくかという観点で意見が出たわけだが、それを参考にしていきたいと思う。

(齋藤副会長)

- ・番組のコンセプトに外れるようであれば、リクエストは受け付けなくてもよいので

は。自分が伝えたいと思う音楽を紹介すればよいと思う。

- ・生放送にはこだわらないが、ゆっくりした時間の中で聴きたいという要望はある。

(高石)

- ・今回、編集を行って初めて聴く曲も多かった。FM局として大変勉強になる。
- ・月のテーマとして、山形や東北でライブがあるアーティストを特集している。今後は、事前の情報発信にも力をいれ、メッセージなども番組内に盛り込んでいきたい。
- ・収録と編集については、時間的な拘束はあるが、個人的には楽しんで行っている。会社の取り組みとして長時間労働を見直そうとしているので、それに反している感じがしている。夜間ではなく、他の時間で調整したい。
- ・現在午前中の放送だが、4月からは放送時間を夜に放送できるよう調整したい。
- ・技術的に不慣れなこともあり、生放送はもう少し時間を頂きたい。

(黒澤)

- ・収入とのバランスを考えるとスタッフの人数を増やせない。メインスタッフの一人が他の主要業務に従事しなければならず、1月からパーソナリティの二人をパートで雇用しているが、それでも社員の負荷が大きい。
- ・今後は、適正な番組を適正な時間に放送できるように考えていきたい。
- ・今後の展開として、エリアが広がることによって、番組構成を変更する時期が来る。

(勝見会長)

- ・おらんだラジオの代表する番組になり得ると思うので、番組構成や対象となるリスナーについて、なお一層検討して頂き、良い番組に仕上げてください。

②質疑応答

特になし

②その他

- ・4月に改編を考えている。ジングルを変えるなどイメージを変えたいと思っている。

7. 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・ ホームページに番組紹介ページ、バナーを設置

8. 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：平成 29 年 2 月 27 日（月）

9. その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

- ・ 平成 29 年 3 月は休会とする。
- ・ 第 15 回放送番組審議会 平成 29 年 4 月 17 日（月）予定
開場 未定